

注目の 革新的テクノロジー の現実

IT コミュニティの展望
—生き残るテクノロジー、消えるテクノロジー—

Your Tomorrow, **Today**

ORACLE[®]
Cloud

最新の調査結果では、クラウド・セキュリティや自律型データベースなどのプラットフォーム・テクノロジーが広く評価され、すでに導入されていることが示されました。

今後の注目は人工知能(AI)と なっていますが、その他の時代 を変える先進テクノロジーの理解や採用はあまり進んでいません。

テクノロジーがあらゆる業界・企業・人々の方向性を決定しています。テクノロジーには、私たちの働き方やコミュニケーション、イノベーションの方法を変える力があり、また、新しいマーケットの開拓や新しいサービスの開発、ワークロードの軽減から意思決定の改善にまでつながります。

しかし、テクノロジーの採用は一律ではありません。セクターやマーケットによって価値を見出すテクノロジーは異なるとともに、その採用の速度にも違いがあります。マーケットやセクターが異なると、さまざまなテクノロジーに対する価値認識や採用率にも差が出てきます。同じ会社内でも、テクノロジーに対する考え方はチームにより大きく異なり、イノベーションに関しては、小さな独立したチームで起こることがよくあります。では、実際テクノロジーに対して人々がどう感じているのかを見てみましょう。2018年8月、21のマーケットにおいて4,000名の意思決定に関わる会社幹部に聞き取りを行いました。

調査を通じ、単なる「ノイズ」として捉えられているものと、知る必要のある情報として捉えられているものを明らかにすることを図りました。同時に、自社の事業において最も革新をもたらす可能性を持つテクノロジーや、すでに導入されているテクノロジーを探り、その中で満足度の高いものと低いもの、実績を出しているものについても聞き取りを行いました。

調査の結果、非常に価値の高い情報を得ることができました。皆様のお役にも立てることを願っています。

キー・ハイライト

テクノロジーについて

クラウド・セキュリティは、データ保護が今後も注目を集めていくことを反映して、業界に革命をもたらす可能性を認められるとともにその実績を持つテクノロジーとして認識されています。

自律型データベースは、さまざまな国やビジネスにおいてクラウド・セキュリティに続く価値を認められたテクノロジーと言えます。現在すでに発生し、将来的にも予測されるデータ量の急増への対応がその背景に考えられるでしょう。また、現在最もメディアを騒がせ、人々の耳目を集めるテクノロジーとなっています。

チャットボットに関しては、ビジネス側からの注目度も低く、メディアでの話題性も最も低いテクノロジーとなりました。最も重要性の低いテクノロジーと考えられる一方で、半数を超える組織において導入されています。チャットボット使用率が45%という、上述の結果が該当しない領域となったマーケティング業務については、より深い顧客情報を得ることに重点を置いていることが背景として考えられます。

世界的には、**AI** は非常に高い評価を受けているものの、実績と認識の格差が最大となったテクノロジーでした。そのギャップが近い将来における投資の焦点となることが期待されます。

各国について

革新的技術の成長において、最も可能性を秘めた国として、**ロシア**と**ポーランド**が挙げられます。現在、この2カ国では、テクノロジーの重要性の認識とビジネスにおけるテクノロジーの導入の間に最大のギャップが存在しています。

インド、**タイ**、**アラブ首長国連邦**は、その差が最小であったことから、新しい革新的テクノロジーへの移行スピードが速かったか、アプローチが実験的であることが示唆されました。

一部の国では、効果の期待以上に特定のテクノロジーが導入されたことも見受けられました。**インド**と**マレーシア**における人工知能(AI)の導入、**マレーシア**と**ニュージーランド**におけるIoT技術導入などは、期待通りの結果をもたらしてくれるのでしょうか？

オーディエンス全体

- 重要性認識 v 導入度 - ヒートマップ
 - IoT
 - チャットボット
 - ブロックチェーン
 - クラウド・セキュリティ
 - 自律型データベース
 - 人工知能 (AI)
 - まとめ - テクノロジー全般
- メディア注目度 - テクノロジー全般
- オーディエンスの関心度 - テクノロジー全般
- オーディエンスの感情 - テクノロジー全般

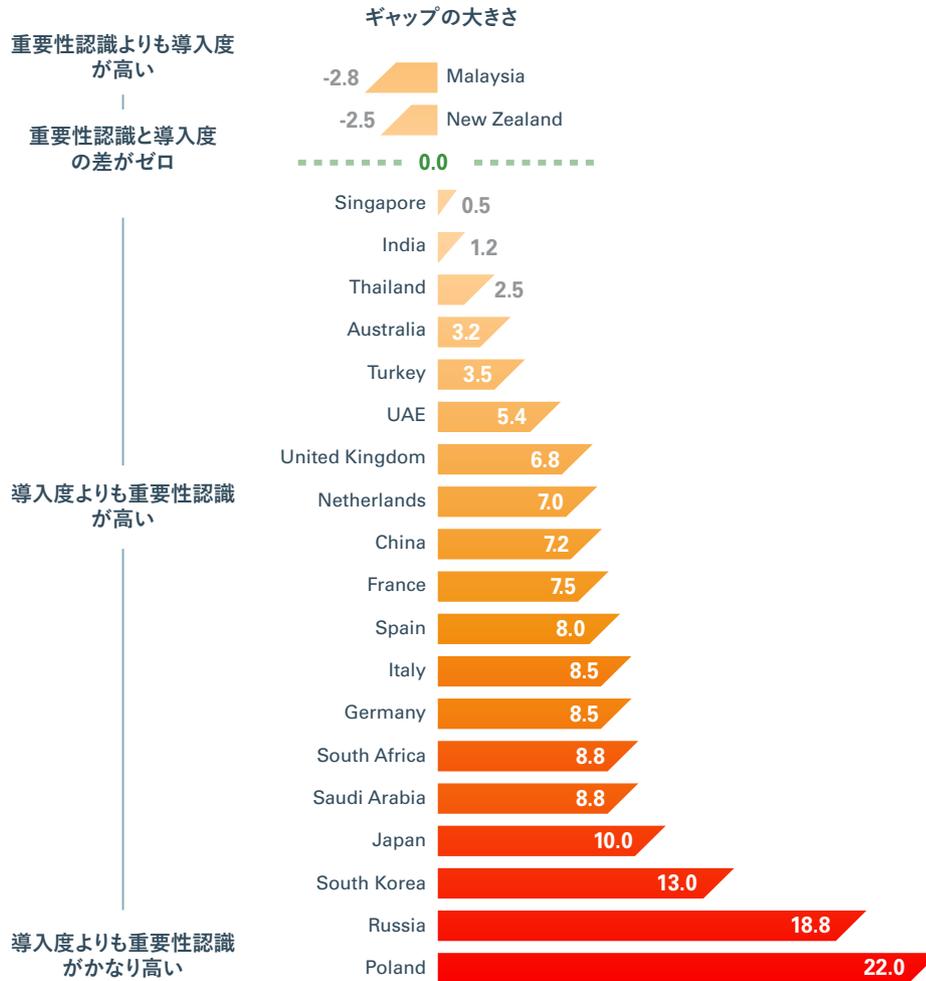
IT オーディエンス

- 重要性認識 v 導入度 - テクノロジー全般
- メディア注目度 - テクノロジー全般
- オーディエンスの感情 - テクノロジー全般

全オーディエンス – 重要性認識 v 導入度 – IoT

事業の成功における特定のテクノロジーの重要性と、該当するテクノロジーの採用について質問しました。重要性の認識と実際の導入度の差がギャップとして示されます。

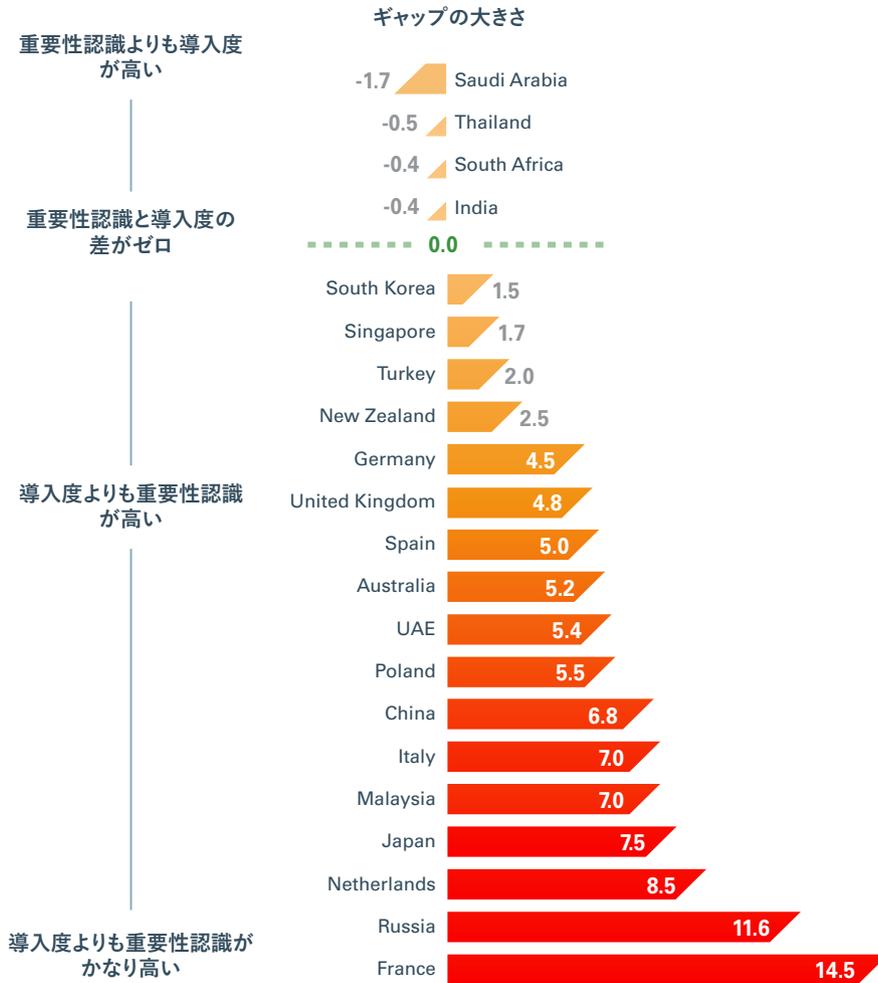
IoT 導入度と重要性認識の格差が最小となったのはインドであり、最大となったのはポーランドとロシアです。ニュージーランドとマレーシアでは、IoT に関する一般的な重要性認識を超えて導入が進んでおり、実験的なアプローチでの導入が行われたか、現状への不満が反映されていることが示唆されています。



チャットボットの重要性認識は最も低く、重要であると答えた回答者は全対象国平均で57%を下回る結果となるとともに、採用レベルも低い結果となりました。

重要性認識と導入度の差が最小であったのはインド、サウジアラビア、南アフリカ、タイの各国であり、フランスとロシアにおいては導入度が最も低い結果となりました。インドでは他国に比べてチャットボットの

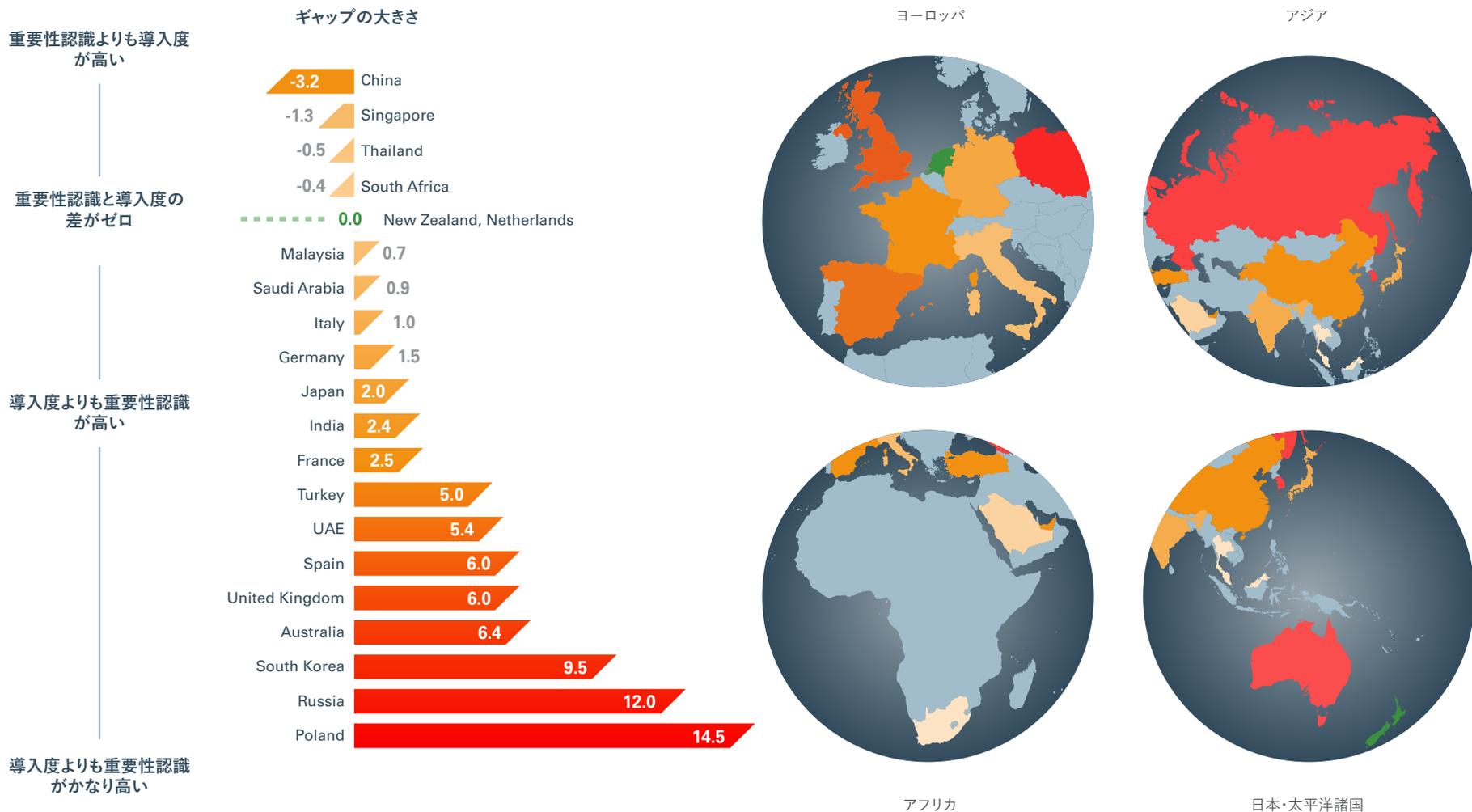
重要性認識が高い(68%)と同時に、導入度においても同レベルを示していたことから、同テクノロジーのポテンシャルを高く評価し、導入を優先したことが示唆されます。



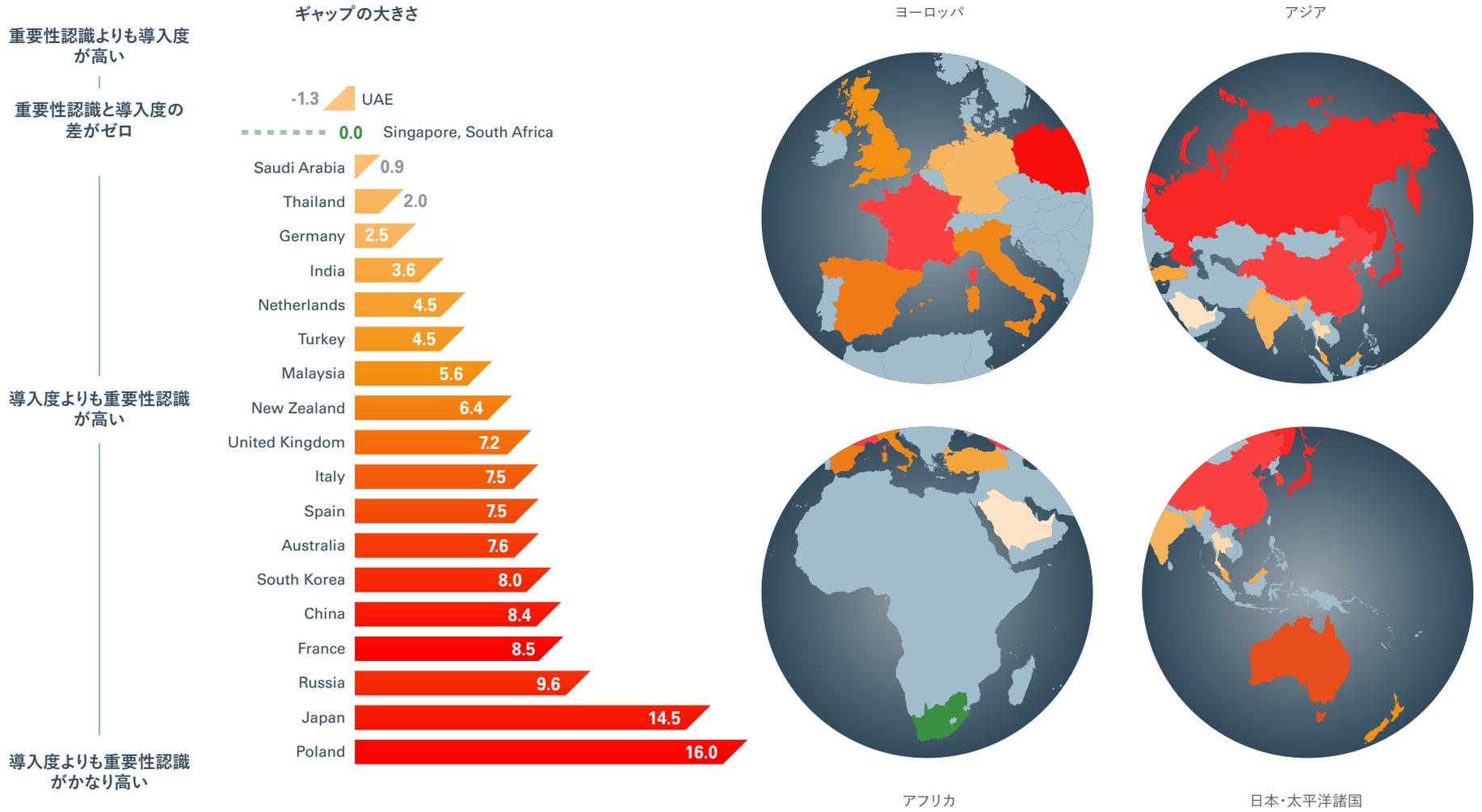
全オーディエンス – 重要性認識 v 導入度 – クラウド・セキュリティ

調査対象のテクノロジーの中で、最も価値が認められたテクノロジーがクラウド・セキュリティです。重要性認識と導入度の平均差が最小であると同時に重要性認識の平均値は最高であることから、価値が高く導入しやすいテクノロジーと考えられていることがわかります。

ニュージーランドとオランダでは重要性認識と導入度に差がなく、理想的なバランスを実現していますが、ロシアとポーランドでは10%を超える差が見られることから成長の余地が見られます。



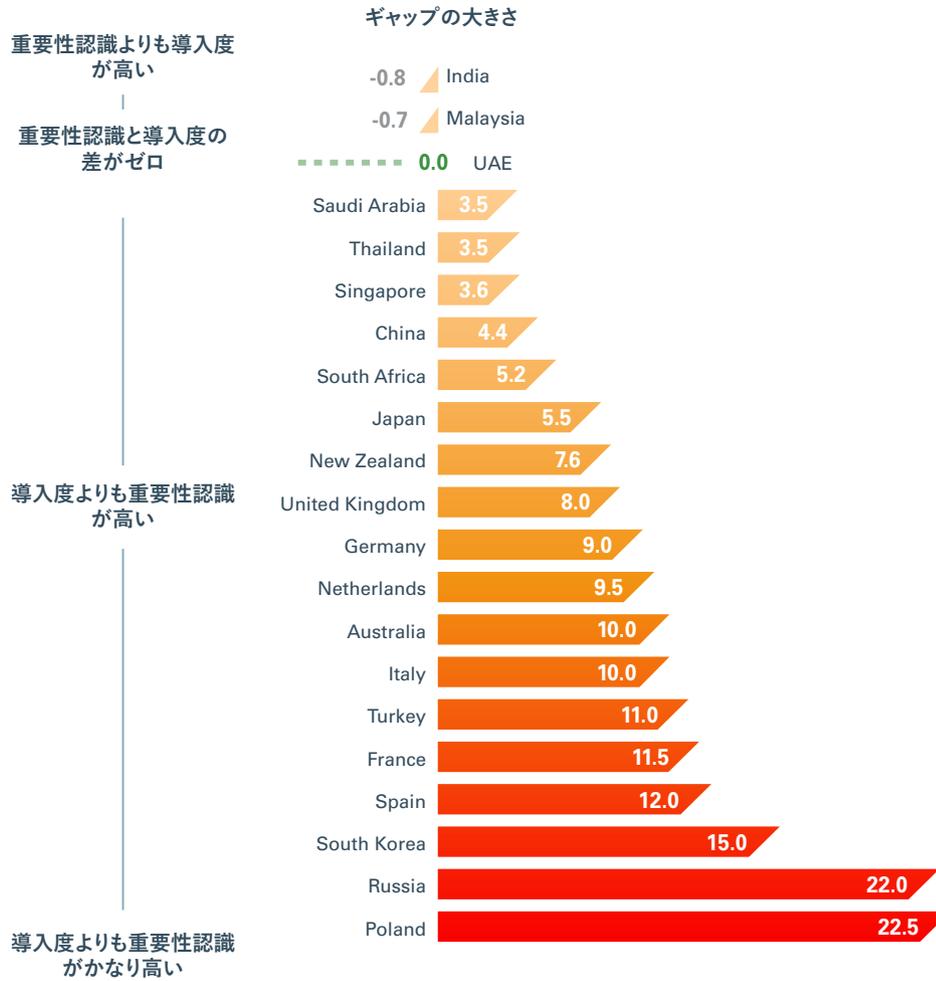
調査対象国においてクラウド・セキュリティに次いで、2番目に高い重要性を認められたテクノロジーは自律型データベースです。シンガポールと南アフリカでは重要性認識と導入度に差がなく、日本とポーランドにおいて最大の差が示されました。



全オーディエンス – 重要性認識 v 導入度 – AI

世界的に見て、AI の価値認識は高いものの、その認識と実際の導入度との間には最も大きなギャップが存在し、今後の成長のポテンシャルが大きなテクノロジーです。

アラブ首長国連邦では重要性認識と導入度に差がなく、理想的なバランスを実現しています。インドの導入度は最高水準となっているものの、重要性認識に一致する実績は出ておらず、実験的導入が行われているものの、その価値が実証されていないことがわかります。

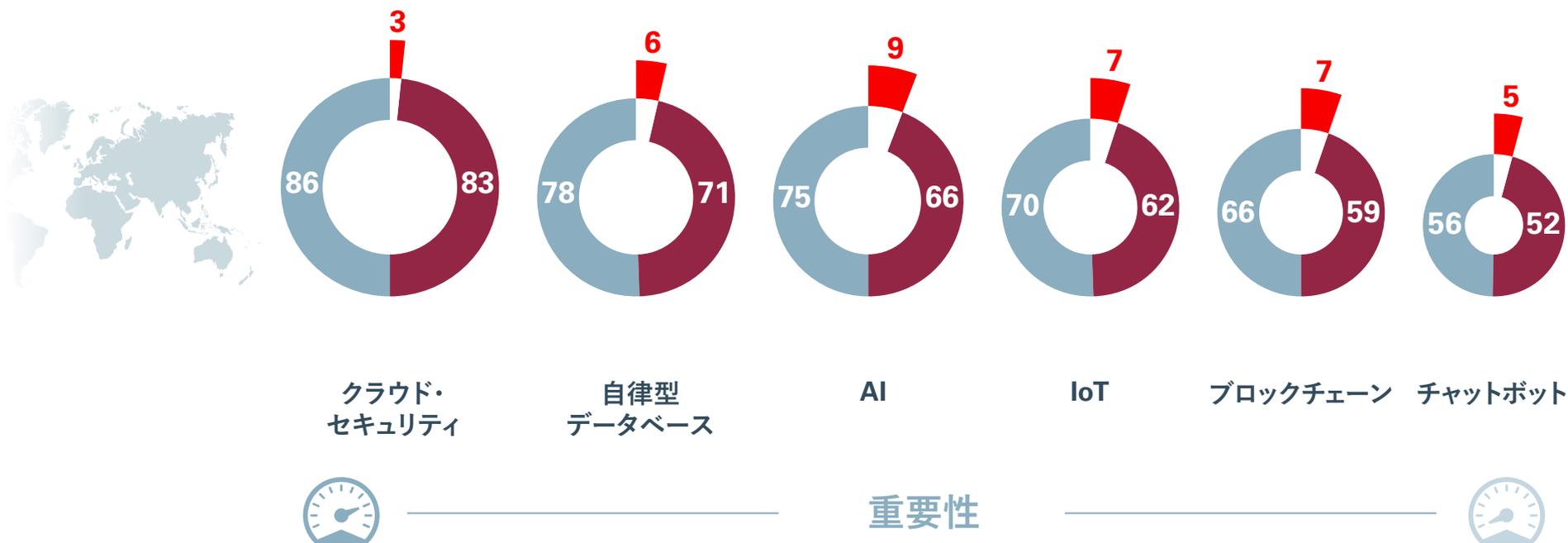


世界的に見て、クラウド・セキュリティはイノベーションに不可欠な最も重要性の高いテクノロジーであると認識されています。重要性認識と導入度の差はわずか3%とほぼ同レベルを示し、その認識は行動を伴うものであることが明らかになりました。

クラウド・セキュリティがトップとなったことは、データ保護や GDPR（一般データ保護規則）が注目されている背景から当然の結果と言えます。意外性のある結果だったのはむしろ、実装例が確立していないチャットボットなど他のテクノロジーは認識・導入ともに進んでいないことでした。

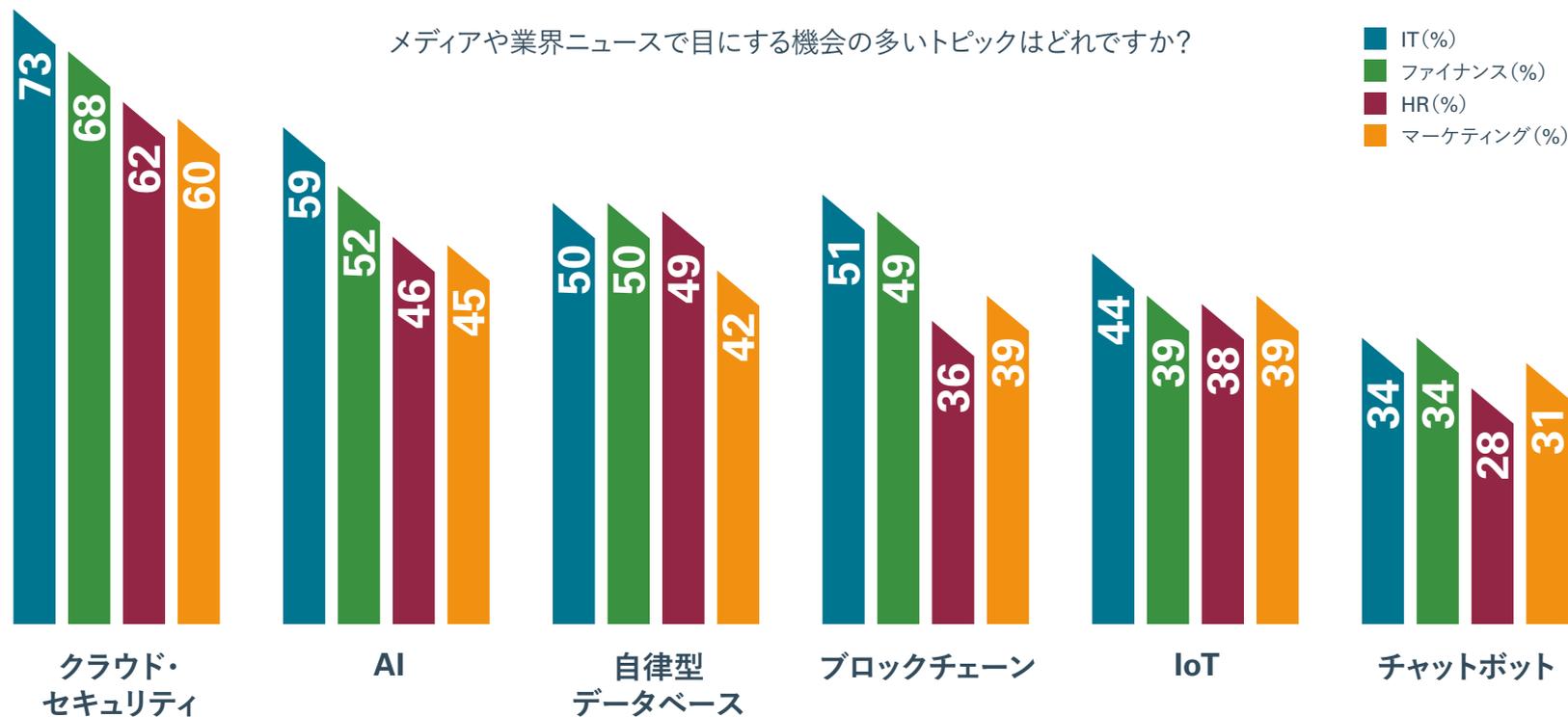
ギャップ分析 - 全対象国

- 重要性認識 (%)
- 導入度 (%)
- ギャップ (%)



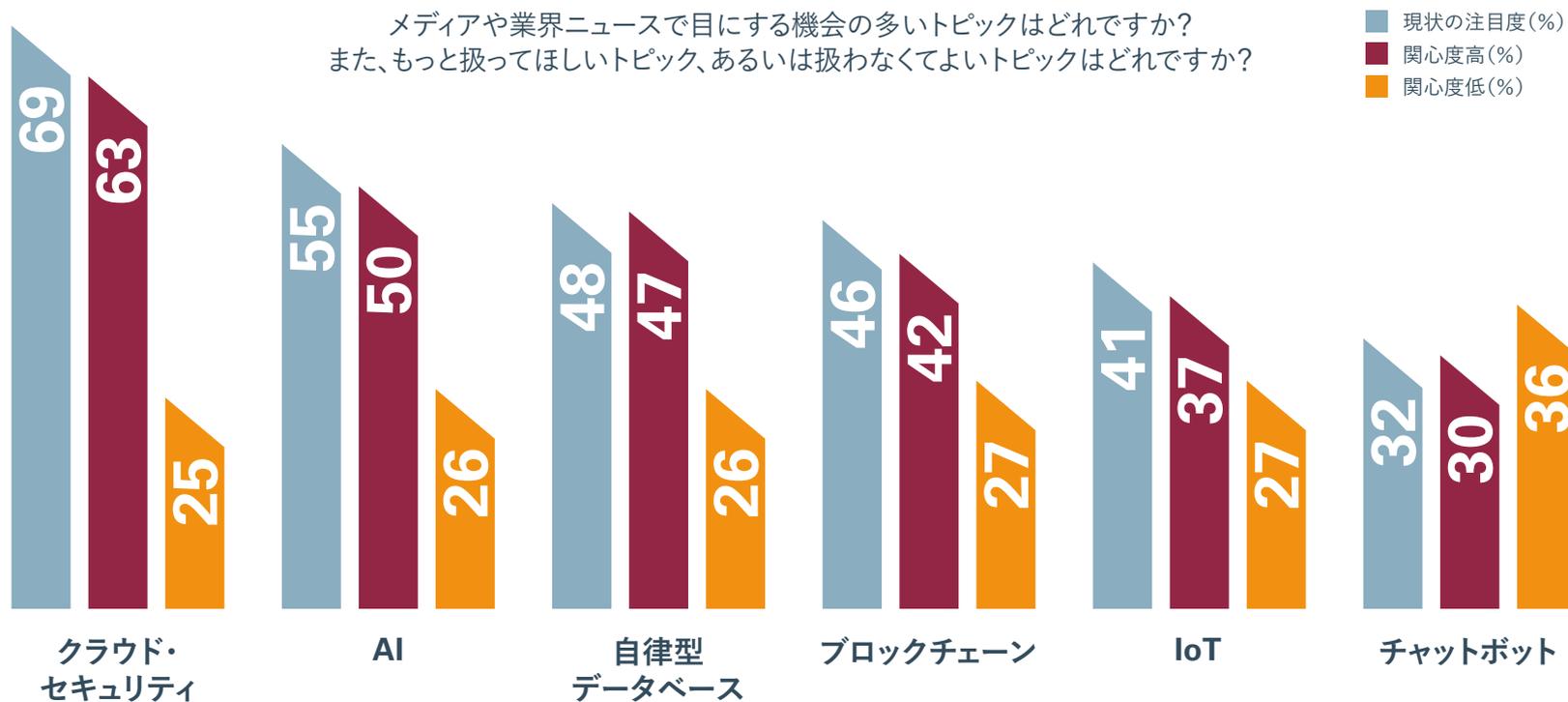
全業界において最も話題に上っているトピックはクラウド・セキュリティであるという回答を得ました。IT とファイナンス部門では、クラウド・セキュリティ、AI、自律型データベースについてより多くの情報が求められています。

部門間での差が最大となったテクノロジーはブロックチェーンでした。ブロックチェーンを目にする機会が多いと答えた回答者は、HR やマーケティング部門に比べて IT やファイナンス部門でかなり多くなりました。IT やファイナンス部門では、データストレージや仮想通貨、バンキングへの影響などの議論を耳にする機会が多く、HR やマーケティング部門では業務に関連する価値が明確に定義されていないことが背景として考えられます。



概して、人々はクラウド・セキュリティが最もメディア注目度が高いトピックである
と見ていると同時に、さらにメディアで扱ってほしいと感じています。AI は、2番
目にメディア注目度が高いという回答結果で、回答者の半数がもっと扱われる
ことを望んでいます。

チャットボットは現状でもメディア注目度が最も低い
にも関わらず、注目過剰と感じられており、他の項目
での結果を裏付けるものとなりました。

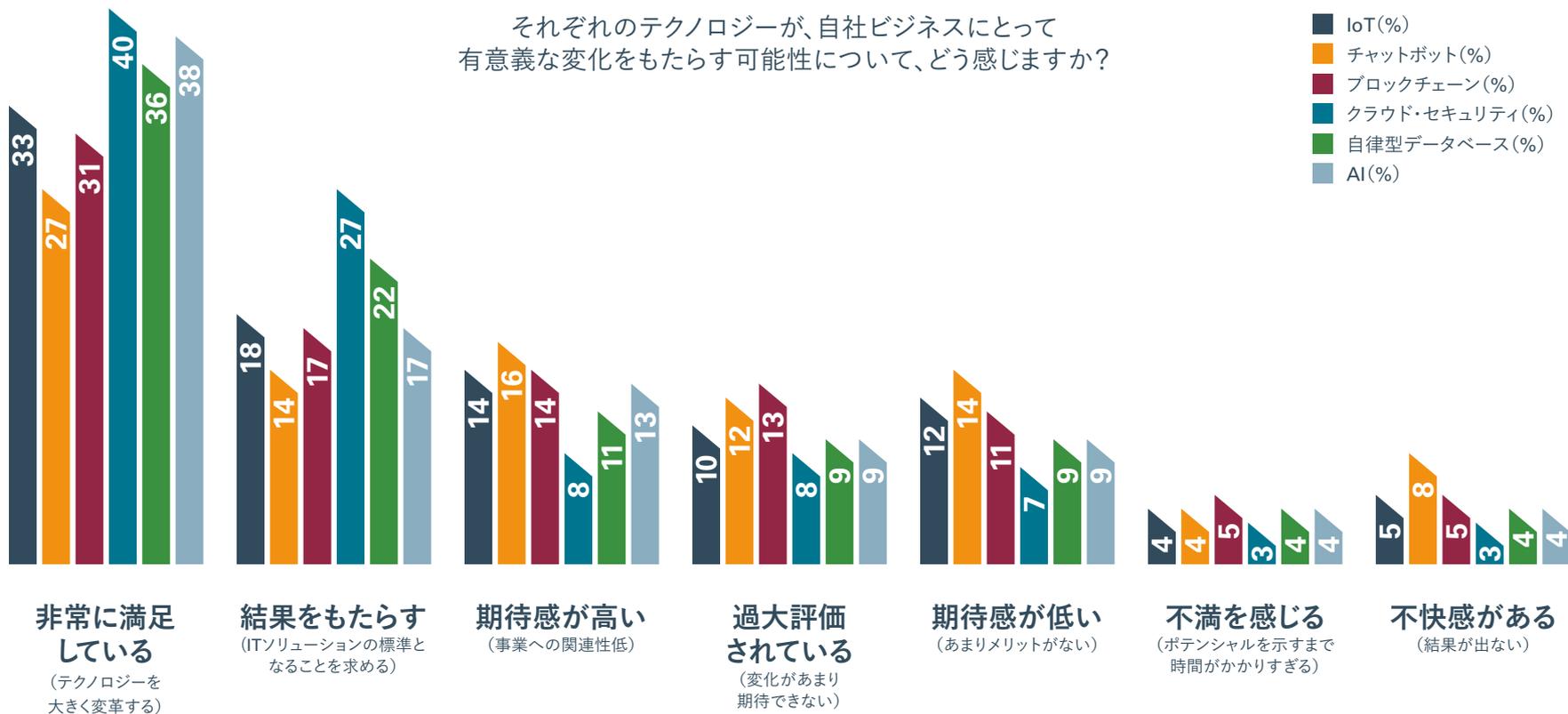


概して、クラウド・セキュリティが実績を上げるとともに、業界に革命をもたらす可能性のある最も有望なテクノロジーであるとみなされています。

AIは、現時点でクラウド・セキュリティ、自律型データベース、IoTほどの実績をあげていないにもかかわらず、革命的テクノロジーとなる可能性については健闘しています。

チャットボットは、期待感が高い(事業への関連性低)/期待感が低い/不快感がある、という3つの感情項目においてトップとなり、今後、効果の実証が必要と考えられます。

それぞれのテクノロジーが、自社ビジネスにとって有意義な変化をもたらす可能性について、どう感じますか？



IT オーディエンス

重要性認識 v 導入度 - テクノロジー全般

メディア注目度 - テクノロジー全般

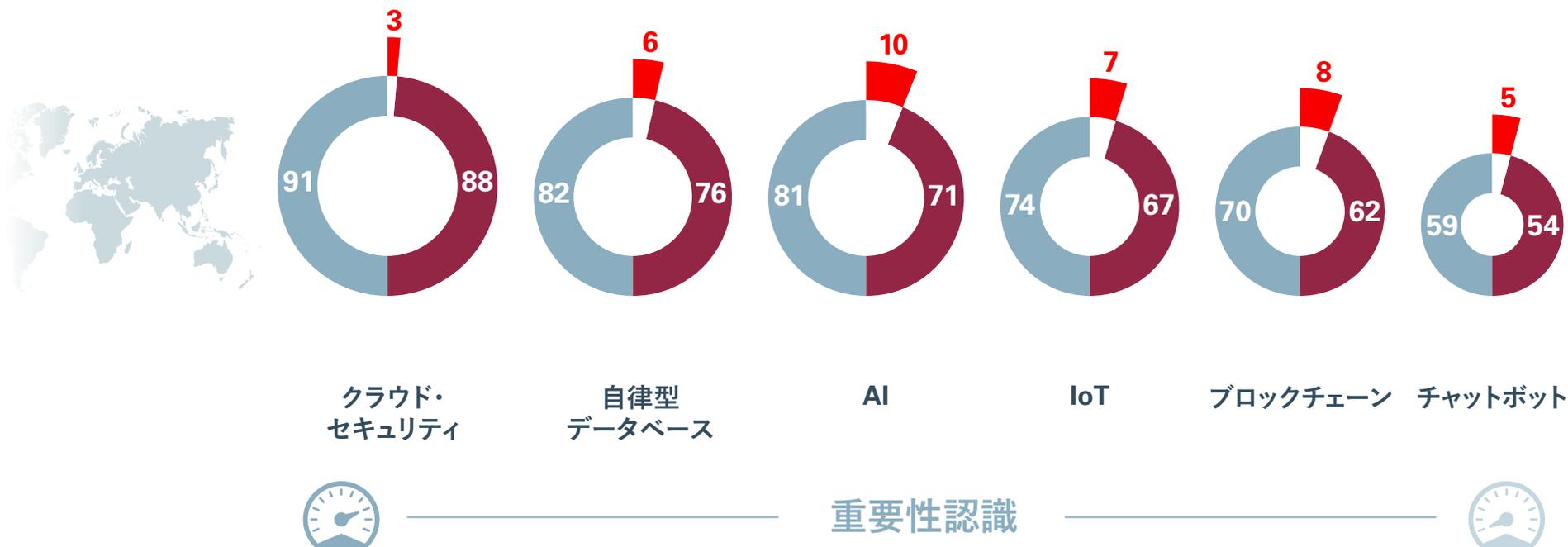
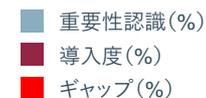
オーディエンスの感情 - テクノロジー全般

IT オーディエンス – 重要性認識 v 導入度 – テクノロジー全般

予想通り、最も多くの IT 担当者がクラウド・セキュリティの重要性を認識するとともに、すでに使用していると回答しました。自律型データベースの重要性認識と導入度がともに第2位となったのは興味深い結果と言えます。

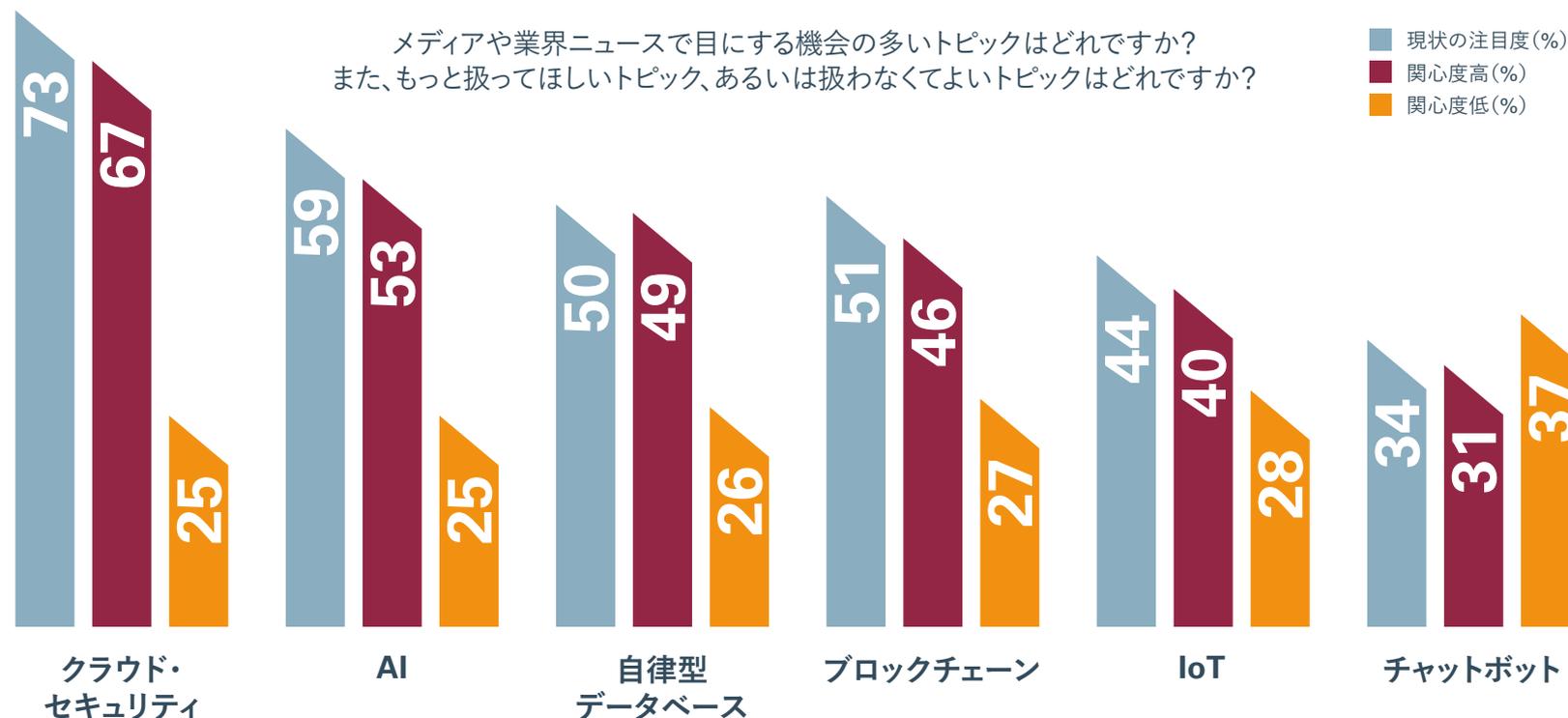
今後、発展する可能性が高いのは、重要性認識と導入度において自律型データベースにわずかに及ばなかったAI です。現在の導入度と IT 担当者の重要性認識に10%のギャップが見られた AI は、今後の投資の重点項目となる可能性があります。

ギャップ分析 – テクノロジー全般



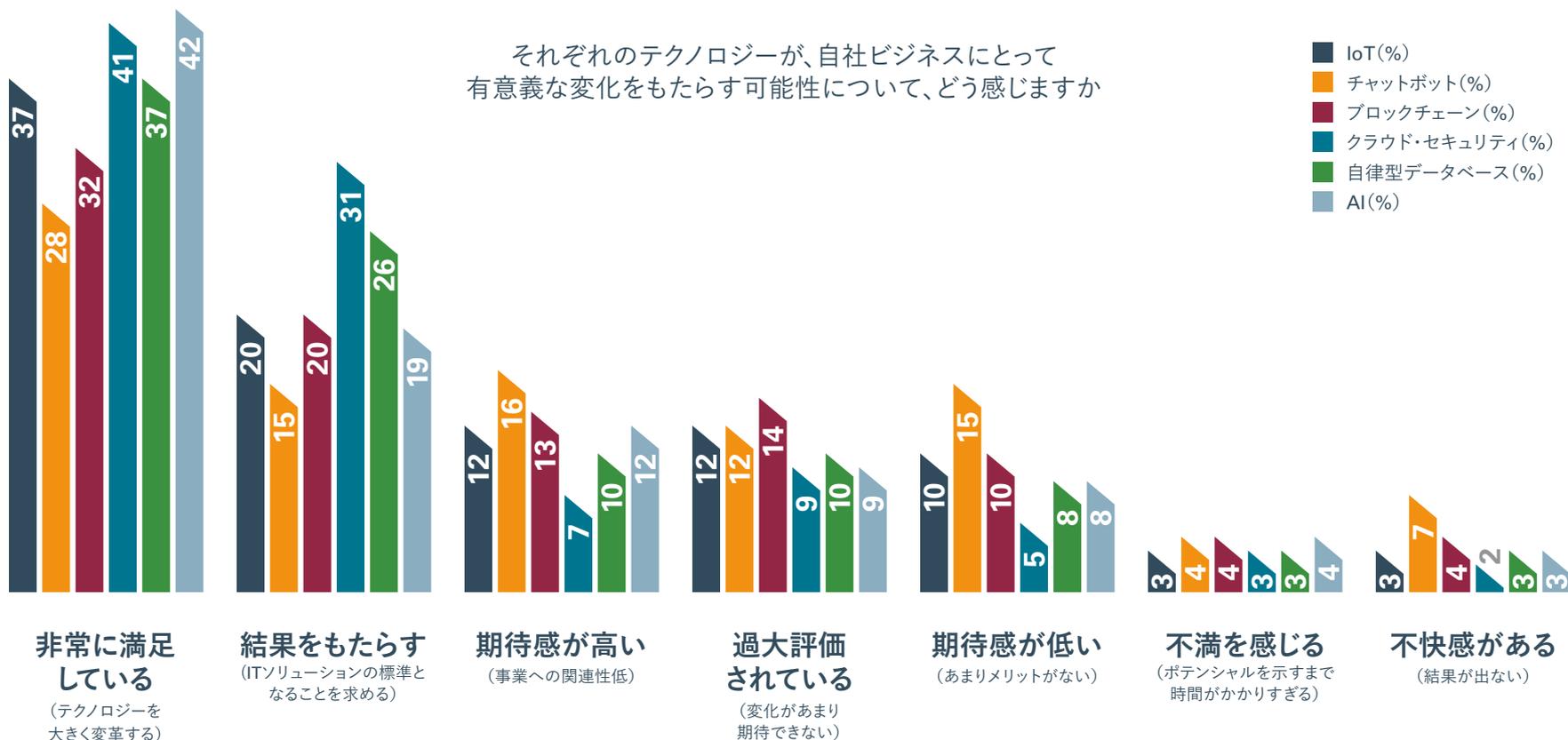
IT 担当者は、他のテクノロジーに比べてクラウド・セキュリティの話題を目にする機会がずっと多いと回答したものの、**2/3 の IT 担当者がもっとメディアでの注目度が上がることを求めています**。その背景には、データセキュリティを継続的に見直し、改善していく必要性の存在が考えられます。

規模は小さくなるものの、同様の傾向が AI にも見られ、メディア注目度、オーディエンス関心度ともに 2 位となりました。他のテクノロジーに比べてチャットボットのメディア注目度は低いに関わらず、1/3 以上の IT 担当者が関心がないと答えています。



IT 担当者は、最も実績を上げているテクノロジーとしてクラウド・セキュリティを挙げていますが、可能性への期待感については AI がやや上回り、IoT と自律型データベースがそれに続いています。

IT 担当者が最も不快に感じているテクノロジーはチャットボットでしたが、ブロックチェーンが最も過大評価を受けていると感じています。その背景には、多くの企業や組織において広くブロックチェーンが導入されていないため、IT担当者ですらもメリットを十分に実感していないことが考えられます。



これらの時代を変えるテクノロジーがどのように貴社のIT部門を変革できるか。ぜひ **Oracle Cloud** で今日から体感してみませんか？

 Oracle Cloud